患者の皆様へ

令和 4 年 7 月 24 日
肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「**肝門部領域胆管癌に対する右肝切除における中肝動脈の走行経路が肝側胆管断端に及ぼす影響**」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 2006 年 1 月から 2021 年 8 月に胆管癌（肝門部領域胆管癌）に対する手術を受けた患者さんの診療情報などを利用させて頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

１．研究課題名

「肝門部領域胆管癌に対する右肝切除における中肝動脈の走行経路が肝側胆管断端に及ぼす影響」

２．研究の意義・目的

胆道癌のうち、肝門部領域胆管に発生する肝門部領域胆管癌は、外科切除が唯一の根治療法です。しかしながら立体解剖が複雑であり、胆管や動脈、門脈の解剖変異も多く、治癒切除の達成に影響する可能性があります。これらのことから、肝門部領域胆管癌に対する右肝切除において、中肝動脈の走行経路が肝側胆管断端に及ぼす影響を検討し、根治的かつ安全な手術を計画する一助となることを目指します。

３．研究の方法

2006 年 1 月から 2021 年 8 月に、当科にて胆管癌（肝門部領域胆管癌）の診断で手術が施行され、電子カルテにて周術期および外来経過のデータが調査可能な患者様が対象です。

対象患者様のデータを調査し、中肝動脈の走行経路別に各患者様の臨床データ（年齢、性別、術式、予後、術前および周術期の採血データや画像データ）、病理組織学的検査所見など、手術成績、病理検査結果を比較検討します。

４．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。

診療情報を蓄積するにあたり、患者氏名は使用せず、診療用の患者識別コードのみを用いて行います。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

５．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省、経済産業省が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和３年３月２３日告示）に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科
本件のお問合せ先：医学部附属病院肝胆膵外科
医師　戸ヶ崎 賢太郎　細川 勇
０４３（２２２）７１７１　内線 72245